

「身近な自然」と「ビオトープ」の
ことならおまかせ！
～生態系・地域の自然・自然保護～

桑袋ビオトープ公園

問い合わせ：

桑袋ビオトープ公園

〒121-0061 足立区花畑 8-2-2

TEL 03(3884)1021 FAX 03(3884)1041

E-mail bio-park@adachi.ne.jp

HP <http://www1.adachi.ne.jp/biotop/>

開園時間 2月～10月 9:00～17:00

11月～1月 9:00～16:30

休園日 月曜休園（祝日の場合、翌火曜休園）

年末年始（12月28日から翌年1月4日）

プログラムメニュー

◆生き物すみかづくりに挑戦！	2
◆クイズで学ぶ 足立に住む生き物	3
◆ビオトープってなに？	4
◆探そう、作ろう！ 生き物マップづくり	5
◆お手軽学校ビオトープづくりに挑戦！	6
◆身近な川の水しらべ	7
◆外来種ってなに？ ～生き物の出身地を考えよう～	8
◆生き物モビールづくり～生き物たちのつながりを知ろう！～	9
◆土の中の生きものしらべ	10

メニュー名	生き物すみかづくりに挑戦！		
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉		
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00
講座のPR	<p>石を積む、校庭の剪定枝を積むなどの簡単な工夫で、エコスタックという生き物が集まりやすい場所を作ることができます。そうした工夫を紹介すると同時に、実際に校内にエコスタックを作ってみることができます。</p> <p>対応単元：1～2年生活 3年理科 身近な自然の観察 4年理科 季節と生物</p>		
<u>メニューの目的</u>			
ちょっとした工夫で、生き物が生息しやすい校庭になることに気づくことができます。また、そこに集まる生き物を観察することができます。			
<p>対象者 小学生… <u>1</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>120</u> 人</p>			
<u>講座の流れ</u> (時間配分と主な内容)			
時間配分	内容		
5分	あいさつ、自己紹介		
15分	スライド「生き物とすみかの関係を知ろう」 生き物の住みやすい環境や空間などの事例紹介をします。		
15分～60分	「生き物のすみかを作ろう」 事前に相談した素材と空間に、エコスタック（生き物が生息しやすい場所）を子ども達と一緒に作ります。		
10分	まとめ 感想や意見を出し合い、どんな工夫をすれば生き物にやさしい校庭になるのかを共有します。		
<u>使う道具・材料について</u>			
①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、スライド写真			
②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、液晶プロジェクター、エコスタック素材（剪定枝、刈草、落ち葉、割栗石など）、エコスタックを設置する場所			
<u>その他</u>			
・①学校内にある素材で、②授業内で完結する程度の、各学校に合った簡単なエコスタックづくりの方法を事前に相談する必要があります。			

メニュー名	クイズで学ぶ 足立に住む生き物										
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉										
実施可能期間	通年	実施可能時間	9:00～15:00								
講座のPR	<p>私たちが生活している足立区には様々な動植物も生活しています。それらをクイズ仕立てのスライドで紹介することで、身の回りの自然に目を向けるきっかけを作ります。</p> <p>対応单元：1～2年生活 3年理科 身近な自然の観察 6年理科 生物と環境</p>										
<p><u>メニューの目的</u> 足立区に住む動植物を知ること、身近な自然に親しみ、足立の自然環境や自分達の生活のつながりを考えるきっかけを作ります。</p>											
<p>対象者 小学生… <u>1</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>120</u> 人</p>											
<p><u>講座のながれ</u> (時間配分と主な内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間配分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5分</td> <td>あいさつ・自己紹介</td> </tr> <tr> <td>30分</td> <td>足立区の動植物を紹介するスライド上映 足立区で見ることのできる動植物の写真をスライド上映しながら、それらの解説をクイズなどを織り交ぜて行います。</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>まとめ</td> </tr> </tbody> </table>				時間配分	内容	5分	あいさつ・自己紹介	30分	足立区の動植物を紹介するスライド上映 足立区で見ることのできる動植物の写真をスライド上映しながら、それらの解説をクイズなどを織り交ぜて行います。	10分	まとめ
時間配分	内容										
5分	あいさつ・自己紹介										
30分	足立区の動植物を紹介するスライド上映 足立区で見ることのできる動植物の写真をスライド上映しながら、それらの解説をクイズなどを織り交ぜて行います。										
10分	まとめ										
<p><u>使う道具・材料について</u></p> <p>①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、スライド写真、「あだちの野鳥」、「足立の水辺の生きもの」</p> <p>②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、液晶プロジェクター、（必要があれば）虫眼鏡等の観察用具</p>											
<p><u>その他</u></p> <p>・学習の展開（プログラム）や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。</p>											

メニュー名	ビオトープってなに？														
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉														
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00												
講座のPR	<p>ビオトープについての入門的プログラムです。学校ビオトープについての学習のきっかけや、食物連鎖など、地域の自然のつながりに関心を持ってもらいたい小学校の事前プログラムとしてお勧めです。</p> <p>※ビオトープ：地域の動植物が自然と集まりくらせる空間の意</p> <p>対応単元：3年理科 身近な自然の観察 6年理科 生物と環境</p>														
<p><u>メニューの目的</u> スライドにより、地域の自然の存在やその自然のつながり（食物連鎖など）に気づき、地域の自然を守っていくことの重要性を伝えます。</p>															
<p><u>対象者</u> 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>120</u> 人</p>															
<p><u>講座のながれ</u> （時間配分と主な内容）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間配分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5分</td> <td>あいさつ・自己紹介</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>スライド「ビオトープとは①」 スライドでビオトープについて簡単に伝えます。</td> </tr> <tr> <td>15分</td> <td>ワークシート「学校内のビオトープをさがそう」 生徒たちに現段階での校内のビオトープ的な空間を探して、見つけた動植物を書き出してもらいます。</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>スライド「ビオトープ②」 ビオトープについてもう少し深く解説します。（生き物はどうやって暮らしているのか、どんな生き物がいるのか、食物連鎖の仕組みなど）</td> </tr> <tr> <td>5分</td> <td>まとめ 地域の自然を守っていくことの重要性を伝えます。</td> </tr> </tbody> </table>				時間配分	内容	5分	あいさつ・自己紹介	10分	スライド「ビオトープとは①」 スライドでビオトープについて簡単に伝えます。	15分	ワークシート「学校内のビオトープをさがそう」 生徒たちに現段階での校内のビオトープ的な空間を探して、見つけた動植物を書き出してもらいます。	10分	スライド「ビオトープ②」 ビオトープについてもう少し深く解説します。（生き物はどうやって暮らしているのか、どんな生き物がいるのか、食物連鎖の仕組みなど）	5分	まとめ 地域の自然を守っていくことの重要性を伝えます。
時間配分	内容														
5分	あいさつ・自己紹介														
10分	スライド「ビオトープとは①」 スライドでビオトープについて簡単に伝えます。														
15分	ワークシート「学校内のビオトープをさがそう」 生徒たちに現段階での校内のビオトープ的な空間を探して、見つけた動植物を書き出してもらいます。														
10分	スライド「ビオトープ②」 ビオトープについてもう少し深く解説します。（生き物はどうやって暮らしているのか、どんな生き物がいるのか、食物連鎖の仕組みなど）														
5分	まとめ 地域の自然を守っていくことの重要性を伝えます。														
<p><u>使う道具・材料について</u></p> <p>①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、ワークシート、スライド写真</p> <p>②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、液晶プロジェクター</p>															
<p><u>その他</u> ・学習の展開（プログラム）や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。</p>															

メニュー名	探そう、作ろう！ 生き物マップづくり														
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉														
実施可能期間	通年	実施可能時間	9:00～15:00												
講座のPR	<p>足立区の各地域には、その地域の環境に適した様々な動植物が生息しています。その地域の自然環境を調べることで、身の回りの環境やその変化について知ってもらうことができ、また生き物と自分達とのつながりを感じてもらうことができます。</p> <p>対応単元：3年理科 身近な自然の観察 6年理科 生物と環境</p>														
<p><u>メニューの目的</u> 地域の自然を調べることで、地域特有の生き物の暮らしや、人との関わりについて考えるきっかけを作ります。</p>															
<p>対象者 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>40</u> 人</p>															
<p><u>講座のながれ</u> (時間配分と主な内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間配分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5分</td> <td>あいさつ・自己紹介</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>クイズ「身の回りに暮らす生き物」 その地域でみることのできる生き物を題材にしたクイズをし、地域の自然の中で、生き物の好む環境の違いに興味をもってもらいます。</td> </tr> <tr> <td>30分</td> <td>地域の自然調べ 植物、昆虫、鳥などのグループに分かれて、学校周辺の自然を調べにいきます。各自白紙の地図を持ち、調べてわかったことを地図に書き込んでいってもらいます。</td> </tr> <tr> <td>30分～45分</td> <td>地域の自然マップ作り グループ毎に調べた情報を持ち寄り、1枚の大きな地域の自然マップを作ります。</td> </tr> <tr> <td>15分</td> <td>まとめ 地域の自然マップを利用しながら、解説員が生き物の暮らしやすい環境作りについて解説し、理想の地域の自然について考えます。</td> </tr> </tbody> </table>				時間配分	内容	5分	あいさつ・自己紹介	10分	クイズ「身の回りに暮らす生き物」 その地域でみることのできる生き物を題材にしたクイズをし、地域の自然の中で、生き物の好む環境の違いに興味をもってもらいます。	30分	地域の自然調べ 植物、昆虫、鳥などのグループに分かれて、学校周辺の自然を調べにいきます。各自白紙の地図を持ち、調べてわかったことを地図に書き込んでいってもらいます。	30分～45分	地域の自然マップ作り グループ毎に調べた情報を持ち寄り、1枚の大きな地域の自然マップを作ります。	15分	まとめ 地域の自然マップを利用しながら、解説員が生き物の暮らしやすい環境作りについて解説し、理想の地域の自然について考えます。
時間配分	内容														
5分	あいさつ・自己紹介														
10分	クイズ「身の回りに暮らす生き物」 その地域でみることのできる生き物を題材にしたクイズをし、地域の自然の中で、生き物の好む環境の違いに興味をもってもらいます。														
30分	地域の自然調べ 植物、昆虫、鳥などのグループに分かれて、学校周辺の自然を調べにいきます。各自白紙の地図を持ち、調べてわかったことを地図に書き込んでいってもらいます。														
30分～45分	地域の自然マップ作り グループ毎に調べた情報を持ち寄り、1枚の大きな地域の自然マップを作ります。														
15分	まとめ 地域の自然マップを利用しながら、解説員が生き物の暮らしやすい環境作りについて解説し、理想の地域の自然について考えます。														
<p><u>使う道具・材料について</u></p> <p>①〈メニュー登録者〉が準備するもの 画板、模造紙、各色油性マジック、地域の地図</p> <p>②〈学習者〉が準備するもの 救急セット、観察用具</p>															
<p><u>その他</u></p> <p>・学習の展開（プログラム）や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。</p>															

メニュー名	お手軽学校ビオトープづくりに挑戦！		
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉		
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00
講座のPR	<p>学校ビオトープというと、大規模な工事が必要なイメージがありますが、実際には植木鉢を利用した小規模なビオトープから始めることができます。そうした少しのスペースで手軽に始めることができるミニビオトープについて知り、実際に作る場所までを行います。その後の観察なども含めて生きものに親しむきっかけ作りにお勧めです。</p> <p>※ビオトープ：地域の動植物が自然と集まりくらす空間の意</p> <p>対応単元：3年理科 身近な自然の観察 4年理科 季節と生物 6年理科 生物と環境</p>		
<u>メニューの目的</u> 生きものが暮らす環境を学び、生きものがやってきやすい環境づくりを学びます。			
対象者 小学生… <u>1</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>120</u> 人			
<u>講座のながれ</u> (時間配分と主な内容)			
時間配分	内容		
5分	あいさつ・自己紹介		
15分	スライド「ビオトープって何？」 スライドでビオトープについて簡単に伝え、環境ごとにやってくる生きものを紹介します。		
30分～60分	「ミニビオトープをつくってみよう」 事前に相談した素材と空間に、ミニビオトープを児童と一緒に作ります。		
10分	まとめ ビオトープにやってくるであろう生きものについて解説し、今後の観察のポイントや維持の仕方について伝えます。		
<u>使う道具・材料について</u>			
①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、ワークシート、スライド写真			
②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室(教室)、スクリーン、液晶プロジェクター、ミニビオトープ材料(スイレン鉢、移植ゴテなど)、ミニビオトープを設置する場所			
<u>その他</u> ・学習の展開(プログラム)や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。			

メニュー名	身近な川の水しらべ												
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉												
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00										
講座のPR	<p>簡易の水質調査キットを使って簡単に水の汚れを調べることができます。川の他に水道水や普段よく飲むジュースなどと比較することもでき、実践を通して楽しみながら川の汚れについて学ぶことができます。</p> <p>対応単元：5年理科 流水の働き 6年理科 生物と環境</p>												
<p><u>メニューの目的</u> 身近な水を調べることで、自分たちの生活と川の関わりや生き物への影響を考えるきっかけとします。</p>													
<p><u>対象者</u> 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>40</u> 人</p>													
<p><u>講座の流れ</u> (時間配分と主な内容)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間配分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5分</td> <td>あいさつ、自己紹介</td> </tr> <tr> <td>15分</td> <td>スライド「川の汚れをみてみよう」 川の汚れの原因にはどんなものがあるのか、川にはどんな生き物がいるのかななどを紹介します。</td> </tr> <tr> <td>25分</td> <td>川の水を調べてみよう 簡易な調査キットを使って川の水を調べてみます。キットの使い方や結果の見方なども説明します。</td> </tr> <tr> <td>10分</td> <td>まとめ 調査結果をもとに川の水の現状を伝えます。また生き物が住みやすい川にするためにできることなどを考え発表してもらいます。</td> </tr> </tbody> </table>				時間配分	内容	5分	あいさつ、自己紹介	15分	スライド「川の汚れをみてみよう」 川の汚れの原因にはどんなものがあるのか、川にはどんな生き物がいるのかななどを紹介します。	25分	川の水を調べてみよう 簡易な調査キットを使って川の水を調べてみます。キットの使い方や結果の見方なども説明します。	10分	まとめ 調査結果をもとに川の水の現状を伝えます。また生き物が住みやすい川にするためにできることなどを考え発表してもらいます。
時間配分	内容												
5分	あいさつ、自己紹介												
15分	スライド「川の汚れをみてみよう」 川の汚れの原因にはどんなものがあるのか、川にはどんな生き物がいるのかななどを紹介します。												
25分	川の水を調べてみよう 簡易な調査キットを使って川の水を調べてみます。キットの使い方や結果の見方なども説明します。												
10分	まとめ 調査結果をもとに川の水の現状を伝えます。また生き物が住みやすい川にするためにできることなどを考え発表してもらいます。												
<p><u>使う道具・材料について</u></p> <p>①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、スライド写真、ワークシート、川の水</p> <p>②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、液晶プロジェクター、簡易調査キット</p>													
<p><u>その他</u> ・学習の展開（プログラム）や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。</p>													

メニュー名	外来種ってなに？ ～生き物の出身地を考えよう～		
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉		
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00
講座のPR	<p>身近な生きものを取り上げたクイズにより外来種の問題について楽しく考えることができます。</p> <p>※外来種：他地域から人為的に持ち込まれた生き物。人為的に持ち込まれたものであれば、意図的な栽培や放流等によらず、偶然に定着した場合でも、外来種という。</p> <p>対応単元：6年理科 生物と環境</p>		
<u>メニューの目的</u>			
学校や地域でみられる様々な生き物について、外来種なのか、もともとその地域にいる生き物なのかを知り、外来種をとりまく問題について考えるきっかけづくりをします。			
<p style="text-align: center;"><u>対象者</u> 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>120</u> 人</p>			
<u>講座のながれ</u> (時間配分と主な内容)			
時間配分	内容		
5分	あいさつ、自己紹介		
10分	スライド「外来種ってなに？」 外来種が入ってきた背景や、それにより起こっている問題について伝えます。		
20分	スライド「生きものウルトラクイズ」 スライドを使って、地域にもともといる生き物が外来種かを考える参加型〇×方式クイズを実施します。答えを紹介しながら、それぞれの生き物が入ってきた背景や生態系に与える影響や特定外来種法などをわかりやすく解説します。		
10分	まとめ 外来種について知って感じたことや、これから調べたいことなどの意見を出し合い、共有します。		
<u>使う道具・材料について</u>			
①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、スライド写真、〇×カード、仕切りのひも			
②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室(教室)、スクリーン、液晶プロジェクター			
<u>その他</u>			
・事前に、校庭や学校周辺地域の生き物調べを実施した上で、ご利用いただくと効果的です。その内容を反映したプログラム展開が可能です。			

メニュー名	生き物モバイルづくり ～生き物たちのつながりを知ろう！～		
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉		
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00
講座のPR	<p>生き物同士の食う、食われるの関係をモバイルというバランスをとる飾りものにする事で、視覚的にわかりやすく学ぶことができます。</p> <p>対応単元：6年理科 生物と環境</p>		
<u>メニューの目的</u> モバイル作りを通して、食物連鎖や生き物同士のつながりを学びます。			
対象者 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>40</u> 人			
<u>講座の流れ</u> (時間配分と主な内容)			
時間配分	内容		
5分	あいさつ、自己紹介		
15分	スライド「生き物同士のつながりを知ろう」 生き物同士の食う、食われるの関係、食物連鎖を紹介します。		
35分	「生き物モバイルを作ろう」 身近に見られる生き物同士のつながりをモバイルに仕立てます。		
5分	まとめ 完成した作品を共有しながら、バランスのよい生態系の大切さを伝えます。		
<u>使う道具・材料について</u>			
①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、スライド写真、モバイル材料、ワークシート			
②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室(教室)、スクリーン、液晶プロジェクター、工作道具(はさみ、のり)			
<u>その他</u> ・事前に、校庭や学校周辺地域の生き物調べを実施した上で、ご利用いただくと効果的です。その内容を反映したプログラム展開が可能です。			

メニュー名	土の中の生きものしらべ		
担当者	解説担当 氏名：伊藤正哉		
実施可能期間	通年	実施可能時間	9：00～15：00
講座のPR	<p>普段はなかなか見ることのない小さな土壌生物ですが、その生き物たちは自然界では重要な役割を果たしています。それらの生き物を実際採取し、観察することができます。</p> <p>対応単元：3年理科 身近な自然の観察 6年理科 生物と環境</p>		
<u>メニューの目的</u>			
ツルグレン装置（土壌生物を効率よく集める装置）を作成し、土の中に暮らす生き物を観察します。自然の中における土壌生物の役割を学びます。			
対象者 小学生… <u>3</u> 年生以上 受け入れ可能人数… <u>80</u> 人			
<u>講座のながれ</u> （時間配分と主な内容）			
時間配分	内容		
5分	あいさつ・自己紹介		
5分	スライド②「土の中の生き物」 スライドで土の中にいる生き物を紹介します。		
15分	「ツルグレン装置をつくってみよう」 ペットボトルによる簡易ツルグレン装置をつくります。		
15分	「ツルグレン装置を使ってみよう」 校内で土を採取し、作成したツルグレン装置にセットします。		
20分	スライド②「分解者について」 装置によって土壌生物を集めている間（少なくとも20程度は必要）、土壌生物のもつ分解者の役割を説明します。		
25分	観察 ツルグレン装置によって得られた生き物を観察します。		
5分	まとめ 地中には多くの土壌生物いることや、その役割の重要性について伝えます。		
<u>使う道具・材料について</u>			
①〈メニュー登録者〉が準備するもの パソコン、資料、ワークシート、スライド写真			
②〈学習者〉が準備するもの スライド上映ができる講義室（教室）、スクリーン、液晶プロジェクター、ペットボトル、顕微鏡			
<u>その他</u>			
・学習の展開（プログラム）や準備物はさまざまに考えられるので、事前に打合せと現場確認が必要です。			